

「1年中を思い出してごらん。あんなこと、こんなこと、あったでしょう・・・」
毎年歌い継がれる「思い出のアルバム」の冒頭の詞。

顧みて新型コロナウイルス感染症と向き合い、緊張感を維持しつつ過ごした1年でしたね。保育においても例年と異なる工夫、そして保護者の皆様方の気遣いとお支えにより、やっと3月を迎えます。ありがとうございます。

巣立ちの季節、お別れの月。少し寂しいですね。でもお別れがないと、新しくは始めることができません。お別れは同時に始まりです。
卒業式「コメント」(英語)は「出発、開始」の意味。まさに人生のその時、その時の、いつの時も、終わりは始まりです。

子どもたちの育ちの姿は明日に向かって常に前向き、立ち止まることがありません。見かけはどうであれ、子どもたちの内側、心は明日に向かって羽ばたこうとする意欲と熱気でみなぎっています。
しかしあくまでも幼い子どもたち、体験もことばも、生活技術も足りません。これからも周りの大人の助けが必要なのです。

私ども大人は、共に生活しながら、子どもの目線に立って言葉がけし、彼らが困っていたら親切に接してあげましょう。
何回でも同じことの繰り返し、子育てはまだまだ続きます。

「楽観主義」のすすめ……………
…「大丈夫かしら？」…いつまでたってもわが子は心配の種、行く先々で不安はつきもの。切りがありません。
「それでもきっと大丈夫！」「あの子はあの子なりに一懸命なのだから」と子ども生きる力を信じてあげましょう。

命はひとつ、あの子の命、父、母の命、先生たちの命、……………
どの命も替りがありません。大切です。
あなたの子どもの命だけでなく、他の人の子どもの命も大切です。

「替りのない命の大切」を心に刻んで再び新しく始めましょう。
……………

恐れるな わたしはあなたと共にいる
わたしはあなたを 贖^{あがな}う
わたしの目に あなたは 価^{あたいたか}高く 貴^{とうと}い